

2022年度 産業医学研修のご案内(2022年4月～2022年5月)

島根産業保健総合支援センターでは、認定産業医等の皆様を対象として産業医学研修会を開催しており、専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的に実施するものです。

新型コロナウイルス感染状況及び申込者が少ない場合など、研修会を中止する場合がありますのでご了承願います。

番号	日時	テーマ	講師・研修内容	単位	会場	定員
1	4月2日 (土) 14:00～16:00	コロナ禍の受動喫煙防止と対策	・春木 宥子 産業保健相談員(松江記念病院健康管理センター 顧問) 新型コロナウイルス感染は、現在、日本全国各地で猛威をふるっており、社会生活において大きな影響をおよぼしている。 喫煙が原因で多くの人ががんや心疾患などにより、健康への影響が大きいことは誰もが認識しているところであり、コロナ禍における感染対策と喫煙の関係性、受動喫煙防止について、今一度、考え行動できるよう解説する。	(生涯研修) 専門2単位	労働会館 【松江市】	25名
2	4月16日 (土) 14:00～16:00	完璧なデジタルバージョンの2022 XILO国際じん肺レントゲン写真分類の登場	・日下 幸則 産業保健相談員(島根県厚生農業協同組合連合会健康管理センター 診療所 所長) 日本のじん肺法で定められている標準写真分類にとり、親元というべき存在です。 1954年からILO主導で国際的に作成されてから、何度かの改訂も経て、珪肺、石綿肺、炭鉱夫肺、金属肺などカバー。呼吸器一般の所見も記載できるシステムになった読影票あり、標準写真24枚一セットに付されています。 日本に遅れること数年にしてようやく、全くあらたなデジタル画像の標準写真が抽出を終え、新たなガイドと併せて2022年版として公刊される運びになりました。 米国NIOSHプロジェクトがコアとなって、米、独、日、伊、中、印、泰、コロンビア、南阿からのエキスパートが読影実験に携わりました。その新たな候補画像も紹介しつつ、分類スキームの概要、珪肺や石綿肺の典型画像も振り返る。	(生涯研修) 実地2単位	いわみーる 【浜田市】	25名
3	4月21日 (木) 14:00～16:00	働く人の糖尿病・メタボリックシンドローム対策	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) コロナ禍でのストレスや行動制限により若年者の肥満が増加し、中高年者の糖尿病リスクが高まっていることが報告されている。 労働者における肥満と糖尿病の実態から予防・管理における産業医の役割を解説する。	(生涯研修) 専門2単位	労働会館 【松江市】	25名
4	4月28日 (木) 14:00～15:30	治療と仕事の両立支援 ～働き方改革から5年、県内の状況/両立支援に係る診療報酬について～	・糸賀 淳一 島根産業保健総合支援センター 副所長 仲佐 菜生子 島根産業保健総合支援センター 産業保健専門職 保健師 働き方改革の重点項目である「治療と仕事の両立支援」について、国や労働局が進める施策や島根県全体での取り組みの実際、当センターでの支援事例を踏まえ、事業場側、医療職側にそれぞれもめられる事項について解説する。また、両立支援ガイドラインに掲載されている様式を用いて「事業場一かかりつけ医」の情報共有に関する演習を行う。	(生涯研修) 専門0.5単位 実地1単位	朱鷺会館 (出雲市)	25名
5	5月12日 (木) 14:00～16:00	保健所業務から見た感染症対策 ～新型コロナウイルス感染症を例に～	・田村 太郎 産業保健相談員(島根大学医学部環境保健医学講座 准教授) 新型コロナウイルス感染症は我が国が初めて経験した大規模な新感染症であるが、その対策は感染症法や新型インフルエンザ対策特別措置法に基づいて行われた。その対策の中心的役割を担う組織として保健所が位置づけられていたため、COVID19発生初期から、各種企業から保健所に感染症対策についての問い合わせも数多くあった。 その中でやりとりした実際の企業との対応事例を中心に、保健所から見た新型コロナウイルス感染症対策の実際について解説することで、その他の感染症も含めた対策について解説する。	(生涯研修) 専門2単位	いわみーる 【浜田市】	25名
6	5月21日 (土) 14:00～16:00	保健所業務から見た感染症対策 ～新型コロナウイルス感染症を例に～	・田村 太郎 産業保健相談員(島根大学医学部環境保健医学講座 准教授) 新型コロナウイルス感染症は我が国が初めて経験した大規模な新感染症であるが、その対策は感染症法や新型インフルエンザ対策特別措置法に基づいて行われた。その対策の中心的役割を担う組織として保健所が位置づけられていたため、COVID19発生初期から、各種企業から保健所に感染症対策についての問い合わせも数多くあった。 その中でやりとりした実際の企業との対応事例を中心に、保健所から見た新型コロナウイルス感染症対策の実際について解説することで、その他の感染症も含めた対策について解説する。	(生涯研修) 専門2単位	労働会館 【松江市】	25名
7	5月26日 (木) 14:00～16:00	高齢労働者への労働安全衛生対策と産業医の対応	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) 労働災害による休業4日以上死傷者数のうち、60歳以上の労働者が占める割合は、近年増加傾向にある。高齢者の就労が一層進むと予測される中、高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現が求められている。 働く高齢者に特有の特徴や課題に対応していくことが重要で、フレイルやロコモティブシンドロームといった高齢期に現れてくる特徴も考慮が必要である。さらに、高齢者は複数の疾病を有することが多く、病気の治療と仕事の両立支援の視点を取り入れることも必要となってくる。 また、労働者が体力や健康の維持改善に努めるとともに、事業者は高齢者が働きやすい職場環境の取組を進めることで、安心して安全に働くことが可能となる。こうした取り組みの中で、産業に求められる対応を提案する。	(生涯研修) 専門2単位	出雲市民会館 【出雲市】	25名

※当センターでは日本医師会認定産業医制度における生涯研修のみ実施しており、基礎研修は行っておりません。

※現在、認定申請中です。

※研修当日、産業医の先生は産業医学研修手帳(Ⅱ)を受付でご提示下さい。

※研修会場では他のイベントと重なり駐車場が利用できないことがありますので、ご了承下さい。

研修会申込書(産業医用)

下欄にご記入の上、FAXにて当センターまでお申し込み下さい。(ホームページからもお申し込みいただけます。)

申込書を確認した後、FAXで「研修受講票」を送付しますので、FAX番号のご記入もお願いします。

お申込み後にキャンセルされる場合には、早めにご連絡を頂きますようお願いいたします。

(研修会当日の急なキャンセルについては除きます)

受講料は無料です。皆様の受講をお待ちしております。

参加希望 研修番号		住所	〒	
氏名		TEL	()	— (自宅・勤務先)
医院・病院 又は 勤務先		FAX	()	— (自宅・勤務先)

島根産業保健総合支援センター FAX 0852-59-5881 TEL 0852-59-5801

最新の研修案内をメールマガジンで配信しています。メールマガジンの登録は、下記ホームページからお申し込みください。

本用紙に記載された個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。

島根産保

検索

2022年度産業保健研修のご案内(2022年4月～2022年5月)

島根産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健・労働衛生業務等に携わる皆様を対象として研修会等を開催しています。産業保健に関係するすべての方に対し専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的に実施するものです。新型コロナウイルス感染状況及び申込者が少ない場合など、研修会を中止する場合がありますのでご了承願います。

番号	日時	テーマ	講師・研修内容	会場	定員
1	4月2日 (土) 14:00～16:00	コロナ禍の受動喫煙防止と対策	・春木 宥子 産業保健相談員(松江記念病院健康管理センター 顧問) 新型コロナウイルス感染は、現在、日本全国各地で猛威をふるっており、社会生活において大きな影響をおよぼしている。 喫煙が原因で多くの人ががんや心疾患などにより、健康への影響が大きいことは誰もが認識しているところであり、コロナ禍における感染対策と喫煙の関係性、受動喫煙防止について、今一度、考え行動できるよう解説する。	労働会館 【松江市】	25名
2	4月16日 (土) 14:00～16:00	完璧なデジタルバージョンの202XILO国際じん肺レントゲン写真分類の登場	・日下 幸則 産業保健相談員(島根県厚生農業協同組合連合会健康管理センター診療所 所長) 日本のじん肺法で定められている標準写真分類にとり、親元というべき存在です。1954年からILO主導で国際的に作成されてから、何度かの改訂も経て、珪肺、石綿肺、炭鉱夫肺、金属肺などカバー。呼吸器一般の所見も記載できるシステムになった読影票あり、標準写真24枚一セットに付されています。 日本に遅れること数年にしてようやく、全くあらたなデジタル画像の標準写真が抽出を終え、新たなガイドと併せて202X版として公開される運びになりました。 米国NIOSHプロジェクトがコアとなって、米、独、日、伊、中、印、泰、コロンビア、南阿からのエキスパートが読影実験に携わりました。その新たな候補画像も紹介しつつ、分類スキームの概要、珪肺や石綿肺の典型画像も振り返る。	いわみーる 【浜田市】	25名
3	4月21日 (木) 14:00～16:00	働く人の糖尿病・メタボリックシンドローム対策	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) コロナ禍でのストレスや行動制限により若年者の肥満が増加し、中高年者の糖尿病リスクが高まっていることが報告されている。 労働者における肥満と糖尿病の実態から予防・管理における産業医の役割を解説する。	労働会館 【松江市】	25名
4	4月28日 (木) 14:00～15:30	治療と仕事の両立支援 ～働き方改革から5年、県内の状況/両立支援に係る診療報酬について～	・糸賀 淳一 島根産業保健総合支援センター 副所長 仲佐 菜生子 島根産業保健総合支援センター 産業保健専門職 保健師 働き方改革の重点項目である「治療と仕事の両立支援」について、国や労働局が進める施策や島根県全体での取り組みの実際、当センターでの支援事例を踏まえ、事業場側、医療職側にそれぞれ求められる事項について解説する。また、両立支援ガイドラインに掲載されている様式を用いて「事業場一かかりつけ医」の情報共有に関する演習を行う。	朱鷺会館 【出雲市】	25名
5	5月12日 (木) 14:00～16:00	保健所業務から見た感染症対策 ～新型コロナウイルス感染症を例に～	・田村 太郎 産業保健相談員(島根大学医学部環境保健医学講座 准教授) 新型コロナウイルス感染症は我が国が初めて経験した大規模な新感染症であるが、その対策は感染症法や新型インフルエンザ対策特別措置法に基づいて行われた。その対策の中心的役割を担う組織として保健所が位置づけられていたため、COVID19発生初期から、各種企業から保健所に感染症対策についての問い合わせも数多くあった。 その中でやりとりした実際の企業との対応事例を中心に、保健所から見た新型コロナウイルス感染症対策の実際について解説することで、その他の感染症も含めた対策について解説する。	いわみーる 【浜田市】	26名
6	5月21日 (土) 14:00～16:00	保健所業務から見た感染症対策 ～新型コロナウイルス感染症を例に～	・田村 太郎 産業保健相談員(島根大学医学部環境保健医学講座 准教授) 新型コロナウイルス感染症は我が国が初めて経験した大規模な新感染症であるが、その対策の中心的役割を担う組織として保健所が位置づけられていたため、COVID19発生初期から、各種企業から保健所に感染症対策についての問い合わせも数多くあった。 その中でやりとりした実際の企業との対応事例を中心に、保健所から見た新型コロナウイルス感染症対策の実際について解説することで、その他の感染症も含めた対策について解説する。	労働会館 【松江市】	25名
7	5月26日 (木) 14:00～16:00	高齢労働者への労働安全衛生対策と産業医の対応	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) 労働災害による休業4日以上の死傷者数のうち、60歳以上の労働者が占める割合は、近年増加傾向にある。高齢者の就労が一層進むと予測される中、高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現が求められている。 働く高齢者に特有の特徴や課題に対応していくことが重要で、フレイルやロコモティブシンドロームといった高齢期に現れてくる特徴も考慮が必要である。さらに、高齢者は複数の疾病を有することが多く、病気の治療と仕事の両立支援の視点を取り入れることも必要となってくる。 また、労働者が体力や健康の維持改善に努めるとともに、事業者は高齢者が働きやすい職場環境の取組を進めることで、安心して安全に働くことが可能となる。こうした取り組みの中で、産業に求められる対応を提案する。	出雲市民会館 【出雲市】	25名

研修会場では、他のイベントと重なり駐車場が利用できないことがありますので、ご了承下さい。

研修会申込書(産業保健関係者用)

下欄にご記入の上、FAXにて当センターまでお申し込み下さい。(ホームページからもお申し込みいただけます。)

申込書を確認した後、FAXで「研修受講票」を送付しますので、FAX番号のご記入もお願いします。

お申込み後にキャンセルされる場合は、早めに連絡を頂きますようお願いいたします。(研修会当日の急なキャンセルについては除きます。)

受講料は無料です。皆様の受講をお待ちしております。

参加希望 研修番号		職種 (○で選択)	1.衛生管理者 2.産業看護職 3.人事労務担当者 4.事業主 5.労働者 6.その他()
氏名		TEL	() (自宅・勤務先)
勤務先 (住所)		FAX	() (自宅・勤務先)

島根産業保健総合支援センター FAX 0852-59-5881 TEL 0852-59-5801

最新の研修案内をメールマガジンで配信しています。メールマガジンの登録は下記ホームページからお申し込みください。

本用紙に記載された個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。

